

つきたい力

- 語彙を豊かにし、適切な言葉を選ぶ力
- 自分の気持ちや考えを相手に正確に伝える力

取組みの概要・ポイント

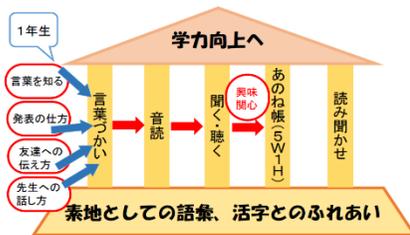
- 国語辞典を活用したり、根拠をもって考えをまとめたりする、言葉にとことん注目させる活動の充実。
- 話す・聞く・書く・読むなど、どのような言語活動を授業に取り入れると有効かを考えた授業づくり。

具体的な取組みの内容

①国語科を要とした言語活動の充実のために

○学校としての取組みをめざす

職員全体で取組みを進められるよう、年度はじめに研修を行い方向性をそろえた。各学年でどの言語活動を意識しながら学力向上をめざすのか話し合い、図にしてとりまとめた。また定期的に研修を行い、各学年での取組みを紹介したり、府開催研修や各学校での研究発表の内容を共有したりしている。



↑どの言語活動を意識しながら学力向上をめざすのかまとめた図(1年生)

○授業づくり

国語科を中心に、単元のゴールを見据えて様々な言語活動を取り入れながら授業づくりを進めている。言語活動例を配付したり、授業の取組みを通信で紹介したりと、参考にできることを定期的に周知している。相互参観では研究テーマが記載された参観シートを使用し、通年でテーマを意識しながら授業研究に取り組めるようにしている。

○通信での情報共有

職員の取組みや各研修での内容共有など、職員向け通信「SEつうしん」を発行している。児童向けには「なれっじつうしん」を発行し、各学年での言語活動を取り入れた授業や、学校図書館を活用した取組みを紹介している。写真やイラストを取り入れ、親しみやすい通信をめざしている。



②読書活動の推進のために

○本による調べ学習の充実

学習内容に応じて、調べ学習を行える本のセット貸し出しを行っている。また各教室にブックトラックを設置し、上段には自分たちで選んだ学級文庫を置き、下段には学習内容と関連した本を置いている。教室にいながらいつでも本を選べるようにしている。

図書館では、辞典や図鑑をそろえた本棚と大きめの机を用意し、調べ学習を行いやすい環境を整えている。

調べ学習用のワークシートを用意し、本と併せて活用している。

○コミュニティエリアとしての図書館

班活動ができる六角形型の机、のびのび過ごせるカーペット空間、本を読みながら折り紙など本の内容を試すことのできるコーナーの整備、将棋コーナーの設置など、様々なかたちでコミュニケーションの場となる図書館をめざしている。



○子どもたち主体の「本との関わり」

図書委員会を中心に季節の本コーナーを作ったり、本と関わる企画を実行したりしている。学年ごとに人気の本を集計し発表するなど、子ども発信で取り組み、本とふれあう機会を作っている。

図書委員会が選書する季節の本↑
コーナー(10月おかしの本特集)



取組みを通しての子どもの変容

- 「ふだん1日に教科書以外の本を全く読まない。(本には、まんがや雑誌を含む)」・・・R7年7月27%→R7年12月20%(児童アンケートより)
- 分からないことや調べたいことがあるときは、本で調べるとよいという発言があったり、実際に図書館に本を借りに来る姿が見られたりしている。
- 書く活動に対する意欲が向上している。積極的に文章を書く姿勢や、正しく書こうとする意欲が見られる。

